

第20回「奥の細道」滑川サミット (7月31日)

松尾芭蕉の「奥の細道」にゆかりのある市町村など22団体が集い、第20回「奥の細道」滑川サミットが、市民交流プラザで開催されました。

基調講演では、「北陸路の芭蕉」と題し、作家の嵐山光三郎氏が北陸路で詠まれた名句に触れ、芭蕉の魅力を存分に紹介されました。

また、翌8月1日には芭蕉にまつわる市内の句碑や旧跡などを訪ねる「滑川宿と芭蕉史跡めぐり」が行われました。



レディーススポーツ大会 (8月5日)



スポーツを通じて、楽しいひとときを過ごそうと市連合婦人会レディーススポーツ大会「ヤングママネット輪っく交流会」が、早月中学校体育館で開かれ、お母さんや子どもなど約140人が参加し、3B体操の公認指導者である江尻照美さんらのアドバイスを受けながら音楽に合わせて、ウォーキングや3B（ボール、ベルター、ベル）体操、リズム体操などで汗を流しました。



(ボール、ベルター、ベル)

ふるさと市民大学講座 (8月17~19日)

市民交流プラザで、第30回ふるさと市民大学講座が3日間にわたって開かれ、「豊かな人間性を育み、新しいまちづくりを創造する」のテーマのもと、滑川市にゆかりのある講師を招き、政治、経済、科学、文化など一般教養を主とした話をいただきました。(写真は初日講師、中町出身の斉藤寿直さん)



アクアポケット利用者5万人達成 (8月8日)



平成17年4月にオープンした滑川海洋深層水分水施設「アクアポケット」の利用者(有料)が、予想より1年ほど早く8月6日で5万人に達しました。5万人目となったのは、青木潔さん、和美さん夫妻(坪川)で、記念のくす玉を割った後、市長から深層水商品の詰め合わせなどの記念品が手渡されました。

「深層水足湯」オープニングセレモニー (7月26日)



富山湾を望む市のほたるいかミュージアム展望デッキに海洋深層水を利用した常設の足湯がオープンしました。

日本宝くじ協会から全額助成を受けて完成したこの足湯は、加温した海洋深層水を「かけ流し」しており、温熱効果が期待できます。また、夏場は冷水と温水の浴槽が設置され、足を交互に浸すことにより、足先の血行が促進するといわれています。

一度に最大16人が利用可能で、開設期間は4月下旬から10月上旬までの午前10時~午後4時(毎週火曜日と6月最終月曜日から4日間を除く)となっています。また、利用者からは施設・設備維持のため、100円程度の協力金を募っています。



2007 ふるさと龍宮まつり (7月28~29日)

ほたるいかミュージアム周辺で「2007ふるさと龍宮まつり」が、2日間にわたって盛大に開催され、たくさんの方が訪れました。

28日は、オープニング式典で今年の乙姫・中村麻衣さんが龍宮からの使者として市長に玉手箱を手渡しました。このあと、さまざまなイベントが行われ、夕方からは市内園児たちのホタルキッズパレードを先頭に、児童クラブの子どもやさこパレードが続き、新川古代神街流し、龍宮大型やさこが練り歩き、総勢約3000人のパレードがほたるいかプロムナードを彩りました。

また、29日の「よさこい滑川in龍宮まつり」では25チームが躍動感あふれる踊りで観衆を魅了し、夜には和田の浜海岸で、正三尺玉2発や超豪華特大スターマインを目玉とした海上花火大会が開催されました。



乙姫の中村さん

